

地域とのタウンミーティングの概要

団体名 川越市自治会連合会福原支会

開催日 令和8年1月31日（土）午前10時から

会場 福原公民館 会議室1号・2号



意見交換の概要

1 スポーツパーク福原について

発言者

スポーツパーク福原は、整備から17年余が経過し、体育祭、ソフトボール大会、グラウンドゴルフ、元旦マラソンなど各種行事や各種スポーツ団体の競技に広く利用され、コミュニケーション形成や健康維持・増進に大いに寄与している施設です。管理面でも地元による美化活動を行っており、大きな問題はこれまで発生しておりません。

しかし経年によりグラウンド表層がかなり荒れてきており、大会や体育祭の際には事前に石拾いなどをして安全確保を行っています。昨年、市から砂を10 m³ほどいただき、自治会を含む利用団体など約80名で散布して一時的に整備しましたが、この地域は冬の強い北風にさらされるため、スポーツパーク福原も表層の土が風で削られ、南側の駐車場方面へ飛ばされて、堆積しています。20～30 cm堆積している箇所もあり、それほど表層が風で削られている状況です。平日は高齢者のグラウンドゴルフが盛んに行われていますが、近年開催した大会でもグラウンドが荒れていて良い成績が出ず、石だらけでグラウンドゴルフをやるには適さないグラウンドとの意見も伺っています。

このような状況を踏まえ、大規模な改修ではなくても、表層をできるだけ補えるような整備をやっていただければと思います。グラウンドを利用している高齢者からは、堆積した土を再利用して表面にまく、あるいは必要に応じた土の補充など、短期間で簡易な整備をしていただきたいとの要望も伺っていますので、このような方向で整備を進めていただきたいと思っております。ご検討お願いいたします。

都市計画部長

スポーツパーク福原について、地域の皆様に身近な運動の場として親しんでいただき、また、日頃より維持管理にご協力いただき厚く御礼申し上げます。ご提案と現状の詳細なご説明、誠にありがとうございました。

正直に申し上げます、全面的な整備には数百万円単位の多額の予算が必要です。ただ、速やかな整備を望む切実な声もいただいておりますので、頂戴した資料を基に、担当課ともできるだけ早く、かつ大きな予算をかけない形で改善できるか検討しておりますので、ご意見を参考に地域の要望にできる限り応え、多くの方にスポーツを楽しんでいただけるような修繕をできるように検討してまいります。引き続きご理解のほどよろしくお願いいたします。

発言者

前向きなお考えを示していただき、ありがとうございます。私ども市の担当課と話すときに、担当課側が理論武装して身構えて来られるのではないかと少し心配しています。まずはお互いに現場に立ち、現状を十分に共有したうえで進めていただければと思います。気負わずフランクにお越しください。必要であれば私も現場に立ち会いますので、よろしく申し上げます。

2 市道の拡張工事について

発言者

市道 6515 号線と交差する市道 6512 号線の拡張工事が中断しています。父が副自治会長だった平成 2 年に陳情書を提出し、工事が始まりましたが、県道川越所沢線から東へ約 300m の自宅付近までは進まず、県道側から約 100m で工事が止まったままです。自宅付近の道幅が狭く、近年のゲリラ豪雨では道路沿いの作業場に雨水が流入してものすごい状態になっています。舗装工事で路面が数センチ上がったことが原因で、道路を流れる水が作業場に入ってきてしまいます。市議会議員や県議会議員の知り合いの方も現地を見てもらい状況は把握されているはずですが、30 年近く経っているため、工事の速やかな再開、あるいは簡易な対策でいいので雨水の侵入を防ぐ対策を考えていただきたいです。

建設部副部長

福原地域では以前から道路拡幅の要望を多く伺っておりました。

排水用の水路がそもそもないところで、排水路を整備する土地もなかなかないため、道路整備をすることで雨水対策も含めて行ってきました。

市道 6515 号線の工事は時間を頂戴しているところです。そのような中、地域に市の取組を示せるよう、道路幅員が約 3m と狭くなっているところで、両側の高木が高くなって通行の支障となっておりましたので、川越所沢線から東側に向かったところの高木を市で伐採しました。

もう一点は、雨水対策として雨水吸い込み槽の整備を行っております。ご要望の路線の整備済のところには、3 か所整備しております。

今後、未整備区間の道路拡幅につきましては、ほかの路線の整備状況を鑑みつつ、雨水吸い込み槽についても現地の状況をよく見て検討してまいります。引き続きご理解ご協力をお願いします。

発言者

工事はここまで時間がかかると、今後何年先にできるという約束は難しいでしょう。経済状況もありますが、雨水吸い込み槽の工事はできるだけ早く実施してほしいです。多分どこも同様かもしれませんが、ここ数年状況がひどいので、何とか早めの対策をお願いします。

発言者

以前、別の通学路でも雨水吸い込み槽の工事をしていただいた経緯がありますが、ここは農村地帯で周囲は畑で、風が吹くと、雨水吸い込み槽は短期間に土で埋まってしまいます。現状では、それを誰が掃除するかといってもなかなかできません。吸い込み槽自体はいいのですが、目詰まりしてしまうので、この地域にはなじまないのではないかと懸念しています。

U 字溝で水を流す方式の方が効率的だと思いますが、農道の U 字溝も、管理の問題もあるのか土で埋まっている箇所が多く、U 字溝に特化することで解決できるかという不安はあります。現場をよく確認のうえ、より効率的で効果的な施工を検討していただければと思います。

建設部副部長

雨水の吸い込みの手法については、ご指摘のとおり様々な方法がありますので、地域性を踏まえ、検討いたします。

市道の拡幅は、現時点で全長約 1.1km を予定している事業の半分ほど進んでおります。引き続き、ほかの路線の状況も見ながら、ご理解いただけるような計画で進めていけるようにしてまいります。

3 防犯対策について

発言者

お願いしたいことが 2 点ありまして、1 点目が防犯灯につきまして、私共の自治会は福原地域でも世帯が少ない地域ですが、そのような中で自治会員が年々減って新住民も加入しないため、財政が厳しいです。防犯灯については市から 3 分の 2 の補助を受けていますが、全額補助をお願いします。

2点目が通学路の防犯につきまして、小中学生が通学している通学路の一部に山林が続いている道があり、そこで以前から不審者や声かけの事例が発生していて、子どもたちの安全が確保されていません。そこで、その山の中に防犯カメラ等を設置し、安心して通学できる環境をつくってください。よろしくお願いします。

市民部長

まず、防犯灯につきまして、これまで設置・維持管理は自治会と市が協働で行ってきました。令和6年度に自治会連合会から電気料金の負担軽減に関する要望を受け、電気料金高騰や防犯灯の公共性を踏まえ、令和7年度から補助割合を従来の2分の1から3分の2に引き上げ、自治会の負担を1/2から1/3へ軽減いたしました。今後は、この3分の2補助の財源確保に注力し、持続的な防犯灯の維持管理運営に努めます。一方で、これまでのタウンミーティングでも同様のご意見をいただいております、自治会加入率低下に伴い、非加入者分まで負担しているとの指摘もいただいております。公共性や公平性の観点から、市としても課題と認識しておりますので、財政状況等を踏まえ、自治会のさらなる負担軽減を検討してまいりたいと考えております。

次に、防犯カメラの設置につきまして、自治会様から様々なご要望をいただいているところです。まず、防犯カメラの設置にあたりましては、設置に関するガイドラインの整備や留意点を作成中です。ご提案のありました防犯カメラの補助制度の創設については、財政負担もあるため市の財政状況等を勘案しつつ検討を進めてまいります。

発言者

市内の商店街等で防犯カメラが設置されている所があるかと思えます。商店街や市が直接関わっているわけではないと思いますが、管理や運用の仕組みはどのようになっているか、分かりますか。

市民部長

商店街や駅周辺には防犯カメラが設置されているところがあり、設置にあたり市でもガイドラインを作成し、ガイドラインに準じて設置されている状況です。

駅や繁華街のカメラは団体や駅の管理者が設置していますが、地域の防犯カメラの要望も多数いただいておりますので、補助制度について現在検討中です。

また、自販機事業者の負担で自動販売機にカメラを設置する方法も、設置場所は限られますが、事業者と設置に向けて調整を進めています。

発言者

基本的には、行政負担ではなく、商店街や公共機関で設置しているのが、現在活用されている、防犯や抑止を担っている実態ではないかとの理解でよろしいでしょうか。

市民部長

現状ではそのようになっております。ただ、地域の防犯カメラについては、現在まさに検討中でございます。設置要綱なども検討段階にありますので、整いましたら各自治会様にご案内させていただきたいと考えております。

発言者

今のところ、市で通学路に対して防犯カメラを設置してある場所はありますか。

市民部長

市では、地域に防犯カメラを設置していない状況です。やはり駅や公共施設など、人が多く行き交う場所に設置されているようです。

発言者

設置にあたっては、各自治会にお願いする形になるのでしょうか。

市民部長

基本的には、地域に防犯カメラを設置する際には、まず自治会や団体、さらに近隣住民の意見を取り入れるなど、合意形成が必要となります。そのため、窓口は恐らく自治会になっていただくとと思いますが、地域の防犯カメラ設置にあたっては、市と自治会、あるいは地域団体の方々と協議しながら進めていきたいと考えています。

発言者

防犯カメラは良いアイデアだと思いますが、設置するには非常に費用がかかると感じています。軽々に言える話ではないだろうと受け止めていますので、仕組みについてよく検討していただかないと、防犯灯で設置により余計に費用がかかることも理解していますので、非常に重要な問題であると思いますので、よく議論していただければと、不安を抱いたことも含め、意見として申し上げます。

市民部長

確かに設置するとなると、設置費用やランニングコスト、維持管理、さらに個人情報の取り扱いなど、様々な問題が考えられます。そういった点についても、地域の皆様の合意形成を図りながら、ご要望があった場合には検討を進めていきたいと考えております。

4 小学生児童の通学路について

発言者

小学生児童の通学路の冠水問題について、お願いしたいと思います。

私どもの自治会は所沢市と接する川越市の最南端に位置しています。このような立地から、児童はまず徒歩で川越所沢線まで約2km歩き、そこから路線バスに乗って福原小学校へ通学しています。最初の徒歩区間に問題となっている通学路があり、そこで冠水が頻発しています。数年前にアスファルト張替えて路面はきれいになったものの、道路がうねっており、エリアの中央部が高く南北に下がっているため、各所に水たまりができます。小学生のくるぶしまで水がたまることもあります。

歩道を示す緑色の塗装部分も雨天時には水たまりとなり、近年は長靴を履かない児童が多く、運動靴で登校するため靴が濡れないように水たまりを避けて車道に出てしまうので、自動車の通行も多いところのため非常に危険です。

現在、所々に吸い込み槽を作っていただいて、ある程度は水がはける部分がありますが、限界を超えると吸い込み槽にも水がたまって水がはけません。

吸い込み槽がないところも水たまりがたくさんできてしまうので、可能であれば、水たまりができる通学路に側溝を設置して根本的に排水を確保し、児童が安心して歩けるよう道路改良をお願いいたします。

付け加えますと、大部分は既に道路を改良して側溝が設置されていますが、この区間は大野原から川越市街へ抜ける際の主要道路で、自治会館もこの通りにあるにもかかわらず、側溝がまだ設置されておりませんので、ぜひ道路の改良を検討くださいますようお願いいたします。

建設部副部長

今お話しをいただきましたところは、だいたい延長 500mほどございます。いわゆる通学路であり、グリーンベルトと呼ばれる、道路に緑色の標示をさせていただいて、そこを歩いていただいているという状況です。

また、あわせて雨水の吸い込み槽については、いろいろ議論がございますが、設置を行っております。さらに、お話しの道路の先の南側については、地域のご要望をいただく中で道路の拡幅整備を進めており、排水構造物も設置した経緯がございます。

側溝の整備をしたときには、側溝の行き着く先の流末がないとその効果が機能しないといったところがありますので、まずは既存の雨水吸い込み槽の清掃などを実施するとともに、引き続き現場のパトロールなどを行い、地域と連携して雨水対策という視点でも道路整備に取り組んでまいりたいと考えておりますので、引き続きよろしくをお願いいたします。

発言者

少し外れますが、雨水の点で1点お願いしたいのですが、雨水側溝に泥がたまる箇所があり、私たちが定期的に点検をして、泥が半分ほどたまった時点で川越市に連絡して除去していただいています。市でも定期的に点検してもらえないかとお願いしましたら、市は「半分くらいたまったら連絡してほしい」とのことでした。そこで、北風が吹く時期や秋の長雨、梅雨前など泥が増えやすい時期に合わせて、定期的に清掃する時期を設けていただけないでしょうか。併せて私たちが点検してたまっている場合にも速やかに対応していただけると助かります。通学路でもあるため、ご対応をお願いいたします。

建設部副部長

建設部には道路管理事務所という部署がありますので、その職員が行う場合もあれば、業者をお願いする場合もございます。さまざまな状況がございますので、お話し合いをしながら進めていきたいと思っております。よろしくようお願いいたします。

発言者

雨水対策については、建設部ではなく上下水道局が担当かと思いますが、福原地区における雨水幹線対策がどのようになっているのかが、まず重要なポイントになると思います。福原地区の雨水幹線の整備について、計画があるのか、またその進捗状況をお知らせいただければ幸いです。

建設部副部長

川越市における雨水対策では、道路内の雨水を排水先へ移動させるというような取組も行われています。その上にあるのが、川越市の基盤整備ということで、雨水を新河岸川などの大きな河川に排出する下水道事業としての位置づけもございます。詳しい内容について今日はご説明できませんが、上下水道局と連携して取り組んでいく姿勢でございます。よろしくお願いいたします。

5 町内公民館補助金打ち切りとコミュニティの場としての公民館のあり方について

発言者

私共の自治会は長年、補助金を受けて公民館講座など多くの事業を実施してきました。福原公民館は当地区から遠く、高齢化で足を運べない方が多いため、福原公民館主催の講座を踏まえながら自治会主催の独自事業として開催することで、多くの参加者に出席いただいております。

ところが、次年度から補助金が突然打ち切られるとのことで、対応に苦慮しています。

町内公民館は地域コミュニティの場としてかけがえのないものです。特に公民館が遠い当地区のような地域では、独自でできることを発信していくことが自治会としての大きな仕事だと思っております。この問題は当自治会だけのものではないと思っております。わずかな補助金でも、それを基に事業を組み立て、住民に還元することができる重要でありがたいものだと思っております。

コミュニティの場として非常に大事な公民館の今後の在り方と、補助金打ち切りについて、ご説明をお願いします。

私共の自治会では、町内公民館講座としてこども関連 3 講座、その他 7 講座の計 10 講座を長年実施してまいりました。講座にかかる補助をいただくことで、地域の皆様に還元できたと思います。3 万 5,000 円の補助ですが、これを自治会が全額負担するのは、自治会員が減少する中で大きな負担となります。

また、高齢化が進んでおりますので、福原公民館まで遠いこの地域で講座をやっていくことが、私達の大事な仕事であると考えています。多くの高齢者が杖や車椅子で、また人に助けてもらいながら防犯や防災、食についてなどの講座に参加いただいております。また、自主防災訓練、餅つき大会、こども達のクリスマス大会など、地域の公民館をいろいろな事業に活用してきました。

これらの事業は自治会を知ってもらい、次世代へつないで自治会員を増やすためにも重要です。そのようなことも含め、今後のコミュニティの在り方と、補助金打ち切りの経緯についてご説明くださいますようお願いいたします。

教育総務部長

日頃より、10 の講座を通じて地域コミュニティの活性の場としてご尽力いただいていること、また福原地区では、体育祭や元旦マラソンなど地域特有の活動が行われていることはよく承知しております。そのような中で、地域コミュニティの重要性は強く認識しています。

町内公民館は地域の核となる公民館であることは把握しております。町内公民館では、自治会とほぼ同じような活動の場となっているため、地域の教育活動の振興や社会福祉の増進を目的とする講座等に対して補助金を交付してきました。

町内公民館が教育活動の場として重要であると認識しておりますが、本市の厳しい財政状況や補助金申請団体の大幅な減少を踏まえ、当補助金は一定の役割を果たしたと判断し、令和8年度以降の廃止を予定しております。次年度以降の活動計画に支障が出ないよう、令和7年度9月に廃止予定を周知させていただいたところでございますので、ご理解くださいますようお願いしたいと思っております。

しかしながら、地域コミュニティには地域・家庭・行政の三者が関わる必要があることは承知しておりますので、核家族化や社会状況の変化を踏まえた新たな仕組みづくりも考えております。なお、自治会向けにも補助金制度があり、よりいろいろな補助金がございますのでご案内させていただき、引き続き地域コミュニティの維持に努めてまいります。

発言者

おそらくそのような返事になることは分かっておりました。この事業に関して相当減少している状況があったのではないかと思います。しかし、減少しているからといってなくなることは避けていただきたいと思っております。今後ともその点をお願い申し上げます。

また、これに代わるような取組が出てくれば、もっと地域の自治会館に足を運んでいただけるのではないかと考えています。引き続きご検討いただければ幸いです。

教育総務部長

これからも引き続き、地域コミュニティが活動できるように、さまざまなことを公民館や市民センターを通じて発信できるよう努めてまいりますので、よろしく願いいたします。

発言者

ぜひ、小さくならないように、コミュニティの場を大事にしていきたいと思っております。ありがとうございました。

6 （仮称）川越市森林公園について

発言者

川越市の森林公園計画について、代表して質問します。下松原上・下松原下・今福原・高階地区など多くの自治会が関係しています。

森林公園予定地内の道路は、ふじみ野市や川越市方面への抜け道として朝夕に交通量が多いのですが、道幅が狭くすれ違えません。待避所を設けても不足し、山林内で渋滞が発生しています。この道路は住民の生活道路であり災害時の通路でもあるため、早急な改善を求めます。また、初雁高校の生徒の通学路にもなっているので、可能な限り道幅を広くとっていただくようお願いします。

当初は環状線整備までしばらく現状のままと聞いていたので黙っていましたが、交通量は増加していますので、道路の整備もお願いします。

また、計画開始から 20 年以上経過しても変化がないのですが、計画を着実に実行して緑と木々を守っていくことで、市民の癒しの場となると思いますので、森林公園の今後の整備方針について市のご見解を伺います。

建設部副部長

ご指摘いただいた市道 0052 および市道 0049 号線でございますが、時代の流れとともに道路需要に対しての量や質が変化しているというお話しはいただいております。この道路は仮称川越市森林公園計画予定地内にあることを踏まえ、この計画には人々が歩くことも含まれますので、私たち建設部といたしましては、道路づくりにおいて、いただいた変化に対応した道路づくりに加え、計画に合わせた検討に取り組んでいきたいと考えております。都市計画部と連携しながら、引き続き検討を進めてまいります。

都市計画部長

森林公園計画の整備方針につきまして、森林公園計画は策定から長い期間が経過しており、その間に一部の土地取得も進んでおりまして、そこは森のさんぽ道として順次延伸を行っているところでございます。

計画地は 40 ヘクタールの広大な雑木林であり、地域や市にとって貴重な雑木林を保全しているところですが、年月とともに木が伐採されて用途変更されることが見受けられるようになってきている状況であると思っております。

そこで、本市としましては、この森林公園計画を実行可能な計画にするため見直しを図らないといけない状況と考えております。計画があっても実行できない、整備できない計画では意味がないですので、市だけではなく民間の力も活用するようなことも含めた、現実的な整備手法の検討を進めております。現時点で具体案はお示しできませんが、内部で検討を進めておりますので、ご理解いただきますようお願いいたします。

発言者

できれば早いうちに判断をしていただけると、私たち住民としてもありがたいと思いますので、どうかよろしく願いいたします。

7 空き家問題について(放置による草木の伐採等)

発言者

先程の児童の通学路の関係に近いですが、具体的には空き家対策となります。場所は県道川越所沢線を川越駅方面に向かって、関越自動車道を越えて約 500 メートルの今福交差点付近です。右手にガソリンスタンドがあり、そのはす向かいに 10 年以上放置された空き家があります。ここは 10 年以上前から空き家で、敷地を管理する者がおらず樹木や竹が道路側に繁茂し、つるが電線まで達して、冬は枯れていますが、4 月から 10 月頃は葉が繁茂して電線から歩道と車道の間垂れ下がってきます。この敷地に接する川越所沢線は所沢市内で県道 126 号線とつながる道路で、川越方面は国道 16 号に接続しており交通量・大型車が多く危険です。この敷地は道路側に張り出しており、そこだけガードレールがなく、そこにつるが伸びてくると車の通行や、通学路ですので小・中学生の通行の妨げにもなっています。

育成会からも自治会に何とかしてほしいと話があり、自治会も市の防犯・交通安全課に何とかしてほしいとお願いしましたが、県道部分は県土整備事務所の管轄なのでそちらに話をしたいということで、対応が進んでいません。この状況を何とかしてほしいというのが自治会の要望なのですが、10年ほど前、個人的に防犯・交通安全課へお願いした時には伐採していただいた経緯がありますので、今回も早急な対処をしないと危険であるということで、ご対応よろしくお願ひいたします。

市民部長

該当の場所は、いずれも交通量の多い県道川越所沢線と県道川越入間線の中の住宅かと考えられます。

まずは、これまで市への情報提供や、通学路ということで児童の安全確保にご尽力いただいていることに感謝申し上げます。

ご指摘の空き家につきましては、近隣から草木が道路に越境して危険だという情報を以前からいただいております。県道であることからその都度、道路管理者である川越県土整備事務所に対応を依頼しております。すぐに対応できない場合もありますが、危険な状況であること、通行に支障が出ないように対応をお願いしております。これまでに一時的とは思われますが、何回か対応したと伺っております。先週も防犯・交通安全課が現地確認して状況を確認いたしました。

空き家につきまして連絡を受けますと、まず防犯・交通安全課が所有者を調査します。お亡くなりになっていた場合は戸籍等で相続人を追跡します。本件では調査の結果、相続人が10人以上おり、昨年5月に全相続人へ管理を促す文書を送付しました。うち1通は「宛て所がありません」と返送され、他は届いたものと認識しています。その後、数名から相続放棄の連絡がありました。一方で、相続放棄をした方以外からも連絡いただきますが、関係がないと対応を拒む方もおり、相続人だという意識が薄い方もいらっしゃる状況です。

今後も、空き家からの草木の越境につきましては、道路管理者である川越県土整備事務所と連携して対応を進めますが、敷地内の除草や伐採は市での対応はできかねるため、引き続き空き家の所有者へ管理を促す文書を送付します。また、自分は関係ないと思いつている相続人が複数いるため、空き家が及ぼす影響、特に通学路の交通に支障をきたしているというようなことの啓発を含めて周知していきたいと考えております。

発言者

この事例は非常に緊急性があると考えます。上のほうから伸びたつるが降りてくると、県道所沢線は小学生も通りますし、通勤・通学の自転車も通りますが、該当箇所はガードレールがなく特に危険です。

敷地に入らなくても高所作業車で電線に絡むつるを切れば大きく改善します。県土整備事務所が所管であるということで伝えていただいておりますが、進展がなく、いつ事故が起きてもおかしくありません。早急な対応をよろしくお願ひいたします。

市民部長

市としても、関係機関と連携していきたいと考えております。ご意見ありがとうございます。

8 ・自治会の加入促進について

・地域コミュニティ活性化に向けた自治会と育成会の連携と課題について

発言者

私共の自治会の約 900 世帯中の加入率は 3 割を下回り、現在は 2 割強です。加入を促進するにあたりましての市への要望となります。

減少の理由としましては、地域が広く全体が市街化区域になっており、昭和 40 年代から開発が進んで、早期に入居した住宅地の住民が高齢化し班長を務められないなどの理由で脱退を希望されることや、新しく開発が進んで、新しい住宅地の住民の加入が進まないことが挙げられます。どの地区でもある程度見られますが、特に顕著です。

自治会に加入しない主な理由は、自治会のメリットが感じられない点です。あとは、私共の自治会の特殊な事情として、小学校区が福原小と武蔵野小に分かれているため子どもたちや親たちのつながりが薄いということがあります。また、自治会報が加入者にしか届かないこともありますので、市の広報に折り込んでいただけないかということと、今のところ加入は任意で、市から強く促せないと思いますが、努力義務にはできないか伺いたいです。

また、近隣の自治会では、福原支会に加入していますが、学区は大東地区で小学校が武蔵野小、中学が大東中のため福原との関わりが薄く、福原のコミュニティになじみにくい状況ですので、このことについて市にお伺いしたいと思います。よろしく願います。

発言者

まず、さきほどお話しされました自治会長様の自治会は、加入率が低下しているとのことでしたが、地域がかなり広く、一つの自治会でこの広い地域を担うのは困難だと考えています。対して私共の自治会は、新興住宅地のため育成会と連携が進み、加入率は 9 割を超えています。そのため、今後自治会が維持されるには育成会との連携が不可欠ではないかと思われまます。

また、中台通りを境に南は福原小、北は武蔵野小と分かれています。こうした実情を踏まえ、今後の地域区分についてご助言いただければ幸いです。

先ほど自治会加入促進条例のお話しがありましたが、努力義務とするのはいかがでしょうか。全国で 75 の自治体が努力義務を設け、加入促進条例を公布・施行しています。自治会には民生児童委員を含む多くの推薦を求められ、川越市からボランティア活動費が出る活動も多く、合わせて約 10 件近い推薦が求められております。自治会に加入していないとこれらの推薦の対象に入らないため、私たちも大変憂慮しているところですので、そこもご理解いただければと思います。

市民部長

自治会の加入率の低下につきましては、これまでもタウンミーティングでご提案やご意見をいただいております。市としても自治会の加入率低下を食い止め、自治会長の負担軽減に真剣に取り組む必要があると考えています。今年は特に、国勢調査員と民生委員の人選が重なったこと、その他にも募金活動など様々な対応をしていただいております。まずは自治会にどのような負担かかかっているのかということと、市から自治会にどのようなお願いをしているのか、市民部だけでなく全庁的に情報を集め検証をしたいと考えております。そこから市としてできることを今後検討してまいります。

広報につきましてご意見をいただきました。広報川越への折り込みは部数の問題で難しい面がありますが、自治会の加入促進のために転入者向けチラシやクリアファイル等の啓発品を配布しています。それ以外にも自治会活動の広報・啓発をするために、広報川越の令和8年2月号11ページに加入促進の記事を掲載しました。しかしながら、紙媒体や回覧だけでは周知が行き渡らないため、市ホームページやSNSも活用して周知・啓発をしていきたいと考えております。

また、自治会加入の義務化、条例制定の提案がございました。核家族化や少子高齢化、地域意識の希薄化が進んでいる中で、震災など災害の発生により改めて地域コミュニティの機能が認識され、県内では所沢市やさいたま市など、他の自治体で自治会の加入を促すような条例を制定している例がございます。条例制定により一定の市民への啓発が期待されることは認識しておりますが、条例制定にいたるまでには、市民ニーズの機運の醸成や市内外の意思決定・合意形成、議会の議決といったことが必要となります。条例の制定による効果や課題を踏まえ、適切な時期を見極めて検討していく必要があるものと考えております。

教育総務部長

自治会と育成会の連携についてですが、育成会は核家族化や共働きの増加で、子どもへの思いは強くても地域への貢献という点では担い手が不足している状況となっております。そのような状況の中で、子どもサポート委員会や育成会、自治会を脱退する事例が増えています。

学区については、地域性のこともありまして、本市でもいろいろな地域で違う学区に通う子どもが増えております。これは、「特認入学」といいまして、以前は厳格に適用しておりましたが、最近では子どもの生活圈や地域性が考慮され、許可の条件が緩和されるようになったことで、そのようなところが増えてきております。

しかしながら、子どものことを地域コミュニティは重要視しておりますことから、学校やコミュニティスクール、学校評議員会などによりまして、あとは保護者にも協力を求めているところですので、ご理解いただきたいと思っております。

9 市道0058号線拡幅工事未着手箇所について

発言者

市道0058号線について説明します。路線は市民センターを出て左折し、信号を左に曲がった区間に位置します。一部区間の整備については、令和4年と令和5年の地域会議等で議論し、要望を出した経緯がございます。一部進展はありましたが、その後数年が経っても着手に至っていない状況です。

市道0058号線は県道川越入間線から県道川越所沢線までを結ぶ道路ですが、最近、県道入間線の交差点から病院側の用地取得が進んだようで、12月に補正予算が通ったと聞いています。工事の早期着手に向けて進めていただきたいと思っております。

一方で、他の区間は民間事業者や運送事業者の敷地の未買収や、不老川を越えて南側に延伸する民地の未買収があり、道路自体歩道があつたりなかつたりなど、不安定な道路整備の状況が20年以上にわたり続いているのではないかとというのが現状です。

市道0058号線は4自治会の小学生の通学路で、朝晩の通学が多く、通行する車が注意しているので大きな事故は起きていませんが、早急な整備が住民の切なる願いです。

未整備区間は建設部も承知していると思いますので、前向きな対応をお願いします。

先程も下赤坂の道路整備が一部進んだものの停滞しているという話がありました。それは私も感じておまして、川越市内で中途半端な工事ばかり残って全線整備できていない状況が散見されますので、その中途半端な工事を完成したほうが、交通安全や地元にとって非常に有意義な道路として活用されるのではと思っております。

道路整備の際には民地を買収する例は多いと思います。だからといって虫食い状態で工事を進めるのは、地元住民にとっては使い勝手が悪い整備状況ではないかと思っておりますので、2本の道路を半分ずつ整備するより、1本は1年で完成させて、翌年にもう1本を整備するといった単純な整備のほうが、よりスピーディーに整備できて、予算措置も楽になって職員の負担も減るのではと思います。未整備の道路がずっと残っている状況が続いているので、建設部の皆様にも意識改革をお願いできればと個人的に感じております。

半分整備してもそのままなら、住民からすれば10年も放置されたと感じ、市長が道路整備を進めるといっても成果が見えません。そのような意味では政策として、整備手法の見直しをしていただければ住民としてはより効果が享受できる整備になると思いますので、この市道0058号線を参考に含めて検討いただければと考えております。

建設部副部長

ご意見をいただき、ありがとうございます。併せて、道路行政について、率直で貴重なご意見を賜りましたこと、しっかり受け止めたいと思っております。

市道0058号線は県道川越入間線との交差点付近で多くの児童生徒が滞留し、不老川を越えて福原小・中学校へ通学しています。交差点での安全対策にご対応いただき御礼申し上げます。

先程ご意見いただきましたことは、私共の考えの中にございます。道路の整備が進まないということで、道路の整備には用地の買収を伴うことが多く、地権者との関係性を途切らせないように日々努力しておりますが、形になるまでには時間を要しております。

市道0058号線につきましては用地交渉を進め、地権者のご理解もいただきましたことから整備を進めますが、整備効果を考え、県道川越入間線との交差点から歩道が繋がっていない、工場が立地している少し北側の区間を、歩道と車道をコンクリートにより区分する構造で整備する予定です。

この区間の工事は入札手続き中ですので、通学路ということで、早く整備効果が出るように取り組んでおります。工事時期が決まり次第、自治会長等関係者に周知し、重点的に取り組んでまいります。引き続きよろしく願いいたします。

発言者

ありがとうございます。せっかく補正予算を取得したわけですから、スピーディーに進めていただきたいと思っております。

今後も未整備区間があります。不老川の近くの企業が今年度末から来年度当初にかけて移転する話が進んでいます。そうすると、一部の未整備区間に駐車場として借りている土地がありますので、そのようなことも踏まえて用地交渉にあたっていただければと思います。ぜひ前向きに進めていただきたいと思っております。

市長

本日は大変貴重な意見交換をさせていただき、誠にありがとうございました。

皆様が普段、自治会活動を通じて感じられている地元の事情や、自治会活動自体の事情についてお聞かせいただきました。これらの貴重な意見を、これからの市政にしっかりと反映できるよう努めてまいります。

それでは、それぞれの議題について簡単に触れたいと思います。スポーツパーク福原については、石がゴロゴロしているなどの実情をお聞きしました。しっかりと対処できるよう、担当と協議しながら進めていきたいと思っています。

下赤坂の冠水の問題についてですが、私も実際に訪れたことがあります。住居付近で水に浸りやすい状況であることを把握しております。

併せて、大野原の通学路でも冠水がひどいことをお聞きしました。最近の雨の降り方を見ると、冠水を完全になくすのは難しいと担当からも聞いておりますが、ひどい状況であることは確かに認識しておりますので、技術的にどのような対策が可能か、建設部や上下水道局と協議しながら、検討していきたいと考えています。

防犯灯の電気代につきましては、おっしゃるとおり、もっと安くしてほしい、あるいは無償にしてほしいというお声があることは把握しております。昨年、自治会の負担を減らしたところでございますので、まずはご理解いただきたいと思っています。ただ、無償化を目指していくべきであるという問題意識については一致しておりますので、引き続きご理解賜りますようお願い申し上げます。

防犯カメラの要望も市内各地からいただいております。市内全域に市が直轄して設置するとなると、維持管理が困難です。そのため、自治会が防犯カメラを設置できる仕組みづくりを進めたいと思います。

公民館の補助金打ち切りについては、残念だというお気持ちをしっかりと受け止めました。コミュニティの場の重要性については、ご意見のとおり非常に重要だと考えておりますので、どのようにコミュニティの場の重要性を高めていくのか、さらなる検討を進めていきたいと思っています。

関連して、自治会の加入促進について、条例で努力義務化できないのかというお話もありました。そのような事例があるというお話がありましたので、引き続き調査研究していきたいと思っています。先程部長からもお話がありましたが、災害が発生した場合、市の職員だけでは対応が困難であることをぜひ 35 万人の市民に理解いただき、自治会への加入やコミュニティ活動への参加を粘り強く促進していきたいと改めて思っております。

森林公園計画地については、先ほどの説明のとおり、見直しが必要と考えております。地域の皆様の声を踏まえながら検討を進めていきたいと思っています。また、森林公園に関しては、一般的には滑川町にある森林公園が思い浮かぶため、その名称についても併せて考えていきたいと思っています。

空き家の問題については、担当職員が一生懸命取り組んでいることは確かですが、非常に苦勞されている状況を把握しました。今回ご指摘いただいた場所については、部長からの説明のとおりです。市内全域で空き家の問題が増えており、特効薬のような解決策がないため、不動産業者やNPO法人などの力を借りて、総合的に問題解決を進めていきたいと考えております。

最後に、道路整備に関するご意見をいただきました。ご意見を踏まえ、道路整備は非常に重要ですので、しっかりと進めてまいります。

以上、大変雑駁な内容となりましたが、私の所感を述べさせていただきました。お忙しい中、長時間にわたりお時間をいただき、ありがとうございました。